記録集発行にあたって

「いっしょに話そう、まちづくりフォーラム」事業は、市民の皆様がフォーラムを通じ、市政の実態を知ることにより、そこから課題の発見や行政と市民との協働、あるいは役割分担の認識を深めていただき、市民参画の促進を図ることを目的として、平成１３年１０月６日から１１月３日までの約１ヶ月間に、全５回にわたり市内各施設において開催しました。

各回とも市民生活に身近なテーマを取り上げ、参加いただいた市民の皆様が気軽に片肘をはらず、同じく市民であるコーディネーターや話題提供者の方々と車座になって話し合う形式で進めてまいりました。参加延べ人数は、合計１７６人にのぼり、１７歳の高校生から７８歳の男性まで、幅広い層の市民の参加を得ました。

私も毎回参加して、皆様の話し合いを拝聴させていただきましたが、各回とも非常に熱心に、そして本気で福生のことを考え、愛している多くの市民の方がいらっしゃることに喜びを感じたとともに、このすばらしい人たち同士がさらに連携をとり合い、輝く街福生に向けてのまちづくりを進めていかなくてはと決意を新たにいたしました。

地方分権時代といわれていますが、国からの分権でなく、これを地方の主権として捉え、市民自らが主体的に、かつ責任をもって、まちづくりに参画することが今求められています。そのためには、今まで以上に市民にとってわかりやすい形での市からの情報提供が必要ですし、市民の皆様も互いに協力し合って情報の共有に努めていただくことも必要になってきます。パソコンの普及により、今後は急速にＩＴ（情報技術）化が進むことが予想されます。機器の操作の得手不得手によって情報格差を起こさぬためにも、市民相互の連携をより強くお願いするものです。

この度のフォーラムを実施するにあたり、コーディネーターや話題提供をしてくださった皆様と、事前に何回も打合せを重ねました。どなたも皆、忙しい身でありながら、本当に熱心に参画をしていただきました。感謝を申し上げるとともに、その熱意に敬意を表する次第です。

その熱意に報いるためにもフォーラムの中でいただいた意見の中で施策に反映できるものは可能なことから実施していきたいと思いますし、来年度も継続して「いっしょに話そう、まちづくりフォーラム」を開催していくつもりです。

皆様の参加をぜひお待ちしております。

福生市長　野　澤　久　人